

■平成22年度版 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
■公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)

内外面PVC樹脂コーティング鋼管

リユーコート[®]鋼管



Ryushin Industry Co.,Ltd.



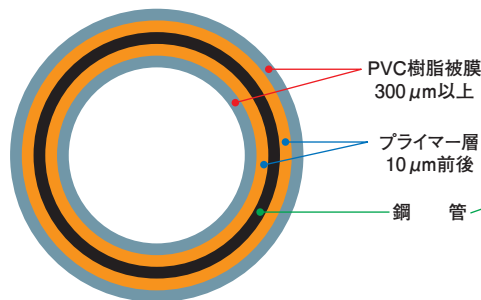
流浸工業株式会社

特長1…

鋼管の**強さ**と優れた**防錆力**を備えもつ!

鋼管にPVC(塩ビ)樹脂を内外面にコーティングしているので、水中でも使用可能。
更に、PVC樹脂本来の特性を生かすため、また、樹脂密着強度を上げるために
前処理工程技術を独自開発しました。

■ リューコート鋼管断面図 ■



■ 断面図詳細 ■



鋼管がギザギザになっているのは、ブラスト処理を行った為です。
ブラスト処理を行う事により、素地(鋼管)を活性化させ、密着力をUPさせます。

※当鋼管PVC被膜樹脂は、食品衛生法・食品、添加物等の規格基準(厚生労働省告示第370号)を所得しています。

特長2…

継手が選択できる!

本製品は、オーダー生産のため、継手の選択が可能です。
用途に合わせて継手を選択できます。



現場の収まりに合わせてプレハブ化できる！

一体物としてパイプ加工する為、余計な継手を排除する事で

コスト削減が可能。また現場工事のスピードアップ

現場で残材を出しません。（環境配慮型商品）



…特長3

大口径・長尺寸法の加工が可能！

25A～600Aまで加工管の製作が可能です。

長尺は最長4mまで可能です。

※注：350A以上のパイプにつきましては、その都度、ご確認ください。

…特長4



■コーティング前



■コーティング中(浸漬中)



■完 成

リユーコートパイプ安全上の注意

安全かつ適切に使用して頂く為に、必ず守っていただくことを説明しています。
表示と意味は以下の通りです。

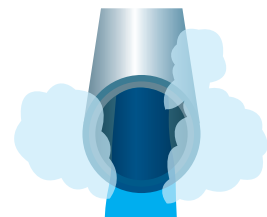
⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う危険性が想定される内容が記載されています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う危険性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

1.使用限界温度

⚠ 注意

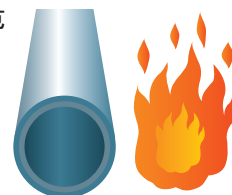
使用温度範囲は -10°C ～ 60°C です。
範囲外の温度で使用すると樹脂の剥がれや、樹脂本来の特性を下げる恐れがあります。



2.火気厳禁

⚠ 警告

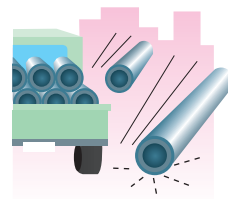
リユーコート鋼管は、内外面が樹脂で覆われていますので、加熱すると、有毒ガスが発生し大変危険です。
また、樹脂が炭化したり、管内部が詰まる可能性があります。



3.輸送中及び作業場での注意

⚠ 注意

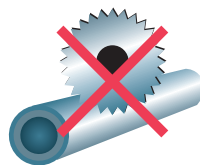
リユーコート鋼管を輸送中や作業中に、強い衝撃を与えたり、工具などで叩いたりしてコーティング表面にキズをつけないでください。
梱包材を取り外す際、鋭器等で樹脂表面を傷つけないようにしてください。
樹脂表面をキズつけた状態で使用すると、赤水発生の原因となります。



4.現場での鋼管切断

⚠ 警告

リユーコート鋼管の切断は絶対に行わないでください。
切断することにより樹脂剥離の原因となります。



5.使用上の注意

⚠ 注意

有機溶剤に対しては材質的に侵される恐れがあります。
殺虫剤・塗料等には接触させないでください。

サニタリーベンド管

美観に優れている!

完全プレハブ内外面樹脂コーティングのため、一体構造が可能となり、そのため、継ぎ目が無く、シンプルで見た目にも綺麗です。

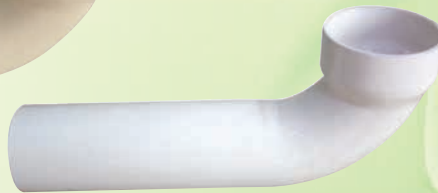


選べる3色!

便器や壁の色に合わせて、色が選択出来る。



■アイボリー■



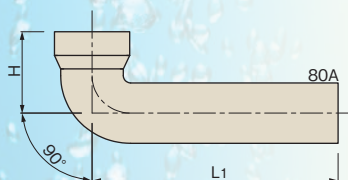
■白■



■グレー■

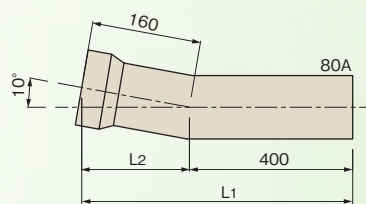
標準寸法

サニタリー管 90°



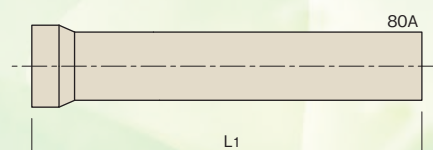
H=120H
L1=350L
L1=400L
L1=450L
L1=500L

サニタリー管 10°



L1=557L
L2=157L

サニタリー管 0°



L1=500L

標準タイプのサニタリー管は、上記寸法の製品となります。

ISO9001 認証工場(本社工場)
ISO14001 認証工場(本社工場)
日本水道協会検査工場 第B-172
日本水道鋼管協会 WSP会員
日本空調衛生工事業協会 賛助会員
NPO給排水設備研究会 賛助会員



流浸工業株式会社

ホームページ <http://www.ryushin.jp/>
メールアドレス info@ryushin.jp

本 社 ・ 工 場 〒587-001 大阪府堺市美原区大保225番
TEL.0723(62)2331(代) FAX.0723(62)3652

関東事業部・工場 〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原字下林673-20
TEL.0485(32)3731(代) FAX.0485(32)7000

奈 良 工 場 〒632-0245 奈良県奈良市藺生町734-1
TEL.0743(82)0684(代) FAX.0743(82)1865